

**【取組内容】 ルーブリックを活用した探究学習**

## 1 テーマ

児童一人ひとりが学習の目的と評価を意識するルーブリックの活用

## 2 実践前の課題

・探究学習において、テーマ別に少人数のグループでの学習を進める場合がある。その際、個々に毎授業毎の学習の目的と評価について、どう持たせるかが課題である。また、他者と協働することで考えを深めたり、広げたりすることにつながるが、授業内の対面で協働する時間には限りがある。

## 3 課題解決に向けた実践の概要

- ・授業開始時は、各自がルーブリックを見ながら課題設定を行い、授業終了時はルーブリックを見ながら、振り返りと自己評価を行った。
- ・6年生の総合的な学習の時間に、探究学習モデルの4つの観点（「課題設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」）それぞれに3段階（S、A、B）の評価基準を示したルーブリックを児童間で共有した。
- ・タブレット上で他者参照や共同編集ができるようにし、対面以外でも協働的な活動を行えるようにした。
- ・内容によっては 個人でなく、グループで共同編集し、課題設定や振り返りを行う場面も設定した。

## 4 実践のポイント

## ・ルーブリック

個々に毎授業毎のゴール意識をもたせることで、個々の課題に向か合っていくことができるとともに、自己評価をしながら振り返り活動ができる。

## ・他者参照

児童が探究の課題設定をする際、同じテーマで探究を進めている児童が設定した課題や自分が参考にしたい箇所を選択して自由に参照できることで、「自分の考えに自信をもつ」「間違いに気づく」「新しい考えが生まれる」等の効果が期待できる。

## ・共同編集

共同編集を行うことによって、児童のコメントが他の人に見られたり、他の人の役に立ったりする経験や、自分の考えをもてなかった児童が、他の人のコメントや学びの履歴を参照して、自分で考えをもつことができた経験につながり、自己有用感や自己肯定感を高めると期待できる。

## 【取組内容】 ルーブリックを活用した探究学習

## 5 成果と課題

## (1) 成果

- ・児童がいつでも他者の考えを参照できる環境を設定したことで、児童が他者参照を行う場面が増えた。
- ・他者参照を行った児童は、自分の考えを再検討、再構成をしたことに加えて、他者の考えを踏まえ、さらに聞きに行く、質問をする、反論をするなど、次の行動につなげる児童も増えた。
- ・自己評価の際、ルーブリックや他者のコメントを参照することで、「何を指標にすればいいか」、「今の自分は、どれを参照すると学習がよりよいものにできるのか」を考え始めた。
- ・課題や振り返りの記述を見ると、当初は、長文でまとまりのない記述がみられたが、学習が進むと現状を踏まえ、要点を絞り、まとまった記述がみられるようになった。

## (2) 課題

- ・共同編集の際、児童間にタイピングスキルの差があるため、入力時間の差が生じてしまい、児童のモチベーションを下げってしまう場面もあった。

## 6 資料

## 共有したルーブリック

	課題設定・めあて	情報収集	整理・分析	表現する	ふりかえり
とてもよかったです S	身近なところ（前回の学習や普段の生活）から課題を設定し、見通しをもってめあてを決めた。	自分に必要な情報を、校内（ネット、教科書、本、友だち、先生）だけでなく、校外（地域の人、関係機関）からも選択して、調べることができた。	情報を整理・分析して様々な視点で考えを持つことができた。	伝わりやすいように工夫して表現することができた。 （図、写真、色、配置、構成など）	具体的にできたこと、改善点、次の挑戦を考えることができた。
よかったです A	友だちの考えを参考に、課題設定し、めあてを決めた。	自分に必要な情報を調べることができた。	情報を整理・分析して自分の考えを持つことができた。	伝えたいことを明確にし、表現することができた。	できたことと次の挑戦を考えることができた。
もう少し B	なんとなく課題設定し、めあてを決めた。	なんとなく情報を集めた。	情報を整理・分析するのが難しかった。	伝えることができた。	できたことを考えることができた。
	文章+評価 (SAB)	評価 (SAB)	評価 (SAB)	評価 (SAB)	文章+評価 (SAB)